

足羽川河川環境整備検討会

第2回

議事骨子

開催日時：平成17年11月25日(金) 午後1時～午後4時

開催場所：福井県職員会館 4F大会議室

◆ 議事次第

1. 開会
2. 委員長挨拶
3. 審議
 - (1) 第1回検討会での意見とその対応について
 - (2) 河川環境整備のための実施方策の検討
 - (3) 河川環境整備基本方針とゾーニング計画
4. その他
5. 閉会

◆ 議事骨子

1. 第1回検討会議事骨子(案)について

第1回検討会議事骨子について、案のとおり承諾された。

2. 審議について

事務局より(1)第1回検討会での意見とその対応について、(2)河川環境整備のための実施方策の検討及び(3)河川環境整備基本方針とゾーニング計画について説明があり、意見交換が行なわれた。主な意見は以下に示すとおりである。

(1)河川環境について

1)自然環境

- ・ 多自然型護岸工法を実施する際、工法の境目、繋ぎかたについても工夫し連続性を考慮する必要がある。
 - ・ 激特事業の河川改修における自然環境の復元や保全についてどのように配慮しているのか。河川の状況が劇的に変化する必要があるので、激特後の想定される状況を示してほしい。
- 【事務局】激特區間(日野川合流～板垣橋)の3/4は年明けから掘削の準備に入るが、掘削河道はただ矩形に掘り下げるのではなく、現況河道の特性と同じになるように深い部分は深く掘るなど配慮して掘削していく。
- ・ 現況河道の特性を保持する掘削河道で、流況、河床の動き、塩水遡上の解析を行うべきである。

2)桜堤について

- ・ 河川管理者が、少しでも安全性に不安が残る4案(川表・川裏千鳥植樹案)を案として挙げてしまうことにはかなりの抵抗がある。
- ・ 桜堤案は、何ができて何ができないのかを地域の方も含めて議論していく必要がある。
- ・ 洪水対策に始まった事業であり、不安が残る堤防対策を実施するわけにはいかない。治水と桜堤の保全という両方の問題について今後もしっかり議論していく必要がある。
- ・ 福井の桜堤の価値は2.2kmに及びアーチ状のトンネル状の桜堤であり、この改修でその価値が消えてしまわないよう、なんとか皆さんの技術によって、残せる方向で検討を進めていただきたい。
- ・ 九州の緑川で、同じように川裏、川表に桜があったが、結局、川表の桜は撤去した。スーパー堤防をこの5年で実施することは不可能である。アーチ状の桜が残るといった、変に期待を持たせるような形で話を進めると非常に混乱するのではないか。安心、安全が第一優先であり、破堤を経験された堤防は、きっちりと安全管理されているという全国の見本になるように期待する。
- ・ 桜堤4案(川裏千鳥植樹案)について、現況の桜を千鳥で残して、間引きし、全部植え替えを行うことになるのか。また側帯案ではさらに延伸も可能なのか。

→【事務局】移植を基本とする。また延伸も可能となってくる

- ・ 3,5案(川裏千鳥植樹案、川裏1列植樹案)によると現在の道路を5mまで縮小した場合、一方通行となってしまうのでは。川表の桜は千鳥の場合はそのままいじらないで済むのか。

→【事務局】堤防定規から縁切りする必要があり、移植することになる。

- ・ 右岸特殊堤側の浜町界隈の料亭、旅館街があり、その人たちが非常に関心を示している。桜の他にパラペットの見栄えの問題についても景観を考慮してほしいということである。例えばモザイク画を入れてほしいなど。

→【事務局】現在、右岸側のパラペット区間における質的な問題の調査を実施している。

今後右岸側についても検討していく。

- ・ 桜堤は福井市の都市景観重要建築物等に指定されている。都市景観の視点から、橋の景観についても検討をお願いしたい。
- ・ 根が堤防の強度を高める樹種というのではないのか。
- ・ 根が堤防に入ると、水が浸入しやすくなり、また、風で揺れて緩んだり倒れたりすることは問題であり、堤防定規に異物が入らないのが原則となる。
- ・ 3,5案(川裏千鳥植樹案、川裏1列植樹案)は用地を確保しないといけないことになるが、用地取得の可能性はあるのか。

→【事務局】用地確保の可能性はなかなか難しい。4案(川表・川裏千鳥植樹案)もその意味で3,5案(川裏千鳥植樹案、川裏1列植樹案)と比較し必要となる用地は多くなり、実現は非常に難しい。3,5案について道路を5mまで狭めるという意味では住宅地の用地確保の必要性はないので、実現性はあるものと考えられる。

- ・ 3,5案(川裏千鳥植樹案、川裏1列植樹案)では裏法を5分の勾配で立ち上げているが、直立にしてしまえば、桜を植える敷地をより広く取れるものと考えられる。石積は新潟の中越地震で非常に大きな被害を受けている構造物であることから、補強土工法などを用いて鉛直に立てることで強度が増す可能性もあり、検討に加えてみてはどうか。
- ・ 堤防の脇の住民からすると直立の壁は圧迫感を感じるものと思われる。堤防は非常に長い間使う構造物であり、用地の問題も含めて、地域にとってどういったものが相応しいか検討していく必要がある。

- ・ 桜以外の樹種について、桜とニレ科、桜とシダレヤナギなどの組み合わせがあってもよい。右岸側などで考えられないか。
- ・ 桜は春だが、萩などで、秋の名所にすることも可能である。アイデアは幾らでも気楽に出せばよいが、重要なのは人々の生命を守れるかどうか、堤体の質的強化がまず優先されるべきである。
- ・ 現況の桜は、大きく育ち、その枝ぶりも大きいことから、そのままスライドして移植することは不可能である。そのまま移植すれば、それこそ30mの風がふけばまとまった倒木が発生する可能性が高い。移植は可能だが、ある程度枝を切り詰め、2,3年は見ごたえについて我慢が必要である。
- ・ 現地で桜の樹木診断をしていた際、地元住民から指摘されたことがある。洪水時に長くたれた枝にゴミがひっかかり、いまにも倒木するのではないかと心配であったということである。景観上は素晴らしいが、桜木そのものの管理についても考えておく必要がある。
- ・ 足羽川の桜堤の桜は非常に生育状況がいいというのが樹木診断からの感想である。
- ・ 治水と桜堤の保全、擁壁の圧迫感や道路幅縮小などの沿川の課題、景観性など踏まえ、5年間における全体のプログラムを組んでいく必要がある。

(2)ゾーニング計画・利活用・景観

- ・ 舟運などは具体的にどのようなイメージを持っているのか。お堀と足羽川を荒川を使って結ぶようなことは考えているのか。

→【事務局】もともと足羽川は舟運路で栄えてきたという歴史性を踏まえ、商工会議所などからの要望、考え方を反映していきたい。

- ・ やはり地元自治体やNPOの要望を踏まえて、河川管理者は船着場などハード面を整備していく。ソフト面、すなわち利用する側の要望、意見をまず頂く必要がある。
- ・ エコロジカルな観点から考えて、お花畑などを考えるのはやめるべきだ。コスモスロードなど現在定着しているものは止むを得ないとしても、本来あるべき河川の植生環境にふさわしくないものが正当化されるべきでない。
- ・ 勺谷石の利活用による景観創出を考えてほしい。護岸などへの使用は難しいと思うが。
- ・ 都市景観という考えから、橋の景観も検討していただきたい。
- ・ 河川空間というのは自由度が高く、その土地の風土や自然の風景になじまないもの作ら

れてしまう。残念ながらその土地に根付いたものだけでは観光の視点から客を呼べないのも事実であり、どこまで許容するかということが問題である。コスモス街道などもそもそも植生の自然度が高い場所でない、ある程度許容されてきた。

- ・ 基本方針について、舟運の復元など他と比較すると具体的すぎる文言があり修正したほうがよい。
- ・ 来年、年明けに市民参加型の意見を集約するフォーラムを実施予定である。その中でもいろいろな意見を反映させ、検討会に提示したいと考えている。
- ・ 河道設計と舟運は整合しているのか。水深など計画河道で確保できるかなど、イメージ図などで提示願いたい。
- ・ 自然を残すということを重視していくのか、それともほとんど有効利用されていない河川敷にもっと市民がジョキングやサイクリングなどの利用ができるよう整備していくのか、その両方をやっていくのか基本のコンセプトを整理していく必要がある。
- ・ 鴨川のように非常に日本庭園的な整備、非常に人工的な整備の区間も、特に中心部などにあってもいいと思うが、程度の問題で、どこまで適当であり許容できるかである。
- ・ 河川敷地とは、地域にとっては大変な財産価値を有している。パターン化せずに、広くパブリックコメントを求めていく必要がある。
- ・ ゾーニングそのものについては、縦断的な川の特性をうまく分けているものと考えられる。今後は低水路の中、高水敷、さらに堤内地という3区分をベースとして横断的にきめ細かく議論していくとよい。横断方向と縦断方向とを掛け算で考えていくと、整理しやすい。
- ・ 福井の街中には子供からお年寄りまでゆっくりと憩う場がない。ゾーンの特性にマッチした形で、憩いの場があるとよい。
 - ラフな大芝生公園のようなものが考えられる。地元の意見を聞きながら、1箇所だけでなく上下流にあってもよい。
- ・ 高級なものでもなくてもよい。ちょっとした広場と水辺に近づけるアクセス道路などがあれば、自然を破壊しなくても、充分水辺に親しむ環境ができるものと考えられる。
- ・ 桜の春以外の季節も人が集う、新しいコミュニティーが生まれるよう、お手伝いをしていきたい。